

令和 6(2024)年度 事業報告書



令和 7 年 5 月 31 日

認定 NPO 法人 芦屋市国際交流協会

★印は 2024 年度から取り組んだ事業です。

1. 潮芦屋交流センター施設（貸室、貸コート）運営事業

	2024年度利用実績金額		延べ利用者数比較		利用率(%)比較	
	(単位:円)	予算比(%)	2024年度	2023年度	2024年度	2023年度
[施設賃貸事業収入合計]	15,907,247	110%	134,306	129,758	55	55
・集会所(1階)	2,591,760	98%	18,697	18,931	53	55
・国際交流センター(2階)	4,468,950	107%	95,066	91,165	40	40
・ テニスコート	5,920,560	90%	20,543	19,662	81	83
・付属設備利用料	542,680	87%	-	-	-	-
・ 駐車場利用料	2,014,400	117%	-	-	-	-
・自販機収入	332,387	119%	-	-	-	-
・一般コピー売上	36,510	243%	-	-	-	-

テニスコートは猛暑が影響して伸び悩み、昨年度並みのやや低い水準となった。
駐車場の適正利用呼びかけが功を奏して伸びた結果、全体収入は予算比 110% となった。

★10 月からはキャッシュレス対応がスタートした。

2. 語学・俳句教室事業

1) English Reading Salon・英語・英語絵本童話朗読・親子英語・英会話・スペイン語・俳句教室

2024 年度は全 17 クラス(受講生 98 名)で開始した。親子英語は隔週月曜日クラスを増設、スペイン語は新たに初級クラスを 3 月から開講した。

	講師名	曜日	場所
English Reading Salon	戸田 博子	木AM	大原集会所
		木PM	北教室
英語	植田 伸子	金	潮芦屋交流センター
	御園生 寛子	金	
英語朗読	中本 幹子	木/月1回	
親子英語	平岡 綾子	隔月・火	
英会話	John Dix	木	北教室
	Stephen Donald	木	
	Mathew Glen Boyd	金	芦屋市民センター
	John Dix	火	潮芦屋交流センター
		木	
	Stephen Donald	月AM	
月PM			
Mathew Glen Boyd	金		
スペイン語	Marco Vinicio	火中級	北教室
		火初級	
俳句教室	戸田 祐一/石川 多歌司	水/月1回	

3. 姉妹都市交流事業

1) 第 58 回姉妹都市学生親善使節交換事業

「さくらまつり」のオープニングステージで SA 紹介を実施し、広報あしや 1 月号で姉妹都市交流事業の特集記事が生まれ、広く市民に広報ができた。

新型コロナは落ち着きを見せていたが、1 週目の 1 家族から 6 日目に感染者が発生した為、ベン・リチャーズを竹園ホテルに 1 泊隔離し、感染検査で陰性を確認した後に 2 週目の HF 宅に移動した。

*派遣使節

- ・橋本 菜央 (高校 2 年・女子) (期間: 7/29~8/20)
- ・芝吹 知宏 (高校 1 年・男子) (期間: 7/31~8/20)

*受入使節 (期間: 7/23~8/12)

- ・アイザック・フロレス (高校 3 年・男子)
- ・ベン・リチャーズ (高校 2 年・男子)

*ホームステイ状況

芦屋市の学生親善使節の家庭でモンテベロ市の学生親善使節 1 名ずつを 1 週間受け入れるとともに、一般市民からホストファミリーを 4 家庭募り、各家庭にモンテベロ市の学生親善使節 1 名ずつのホームステイを約 1 週間引き受けて頂いた。

*実施した主要行事

- ・市長・議長・消防署長・警察署長表敬訪問、華道体験、市長と学生のディスカッション、歓送迎会 (7/24)
- ・能体験、市内観光 (7/26)
- ・サマーカーニバルで花火鑑賞 (7/27)
- ・ハワイアンコンサートで紹介 (7/28)
- ・芦屋学園訪問 (7/30)
- ・広島ツアー (平和学習) (7/31)
- ・山手中 E S S 訪問 (8/1)
- ・打出浜小学校訪問 (8/6)
- ・書道体験、さよならパーティー (8/10)
- ・帰国報告会 (9/15)

* 19 名のホストアンバサダーはホスト役として積極的に行事に参加して交流活動の活性化を図った。市民との交流では、打出浜小学校、山手中学校、芦屋学園高校を訪問し学校関係者、児童、生徒および保護者と親交を深める事ができた。米国在住の高校生女子 1 名が夏休みに芦屋在住の祖父母宅に滞在する機会を利用して HA に加わり通訳等で活躍した。

期間中の公式行事参加人数は 573 名であった。

★* 高島市長の希望で「姉妹都市交流の将来像～ありかた～」のタイトルで両市 SA と HA 合わせて 17 名の学生とディスカッションの場を設け、活発な意見交換をした。

* 第 59 回姉妹都市学生親善使節の選考結果

次年度派遣の学生親善使節の選考試験は、筆記試験及び面接を行い、下記の 2 名に決定した。

- 小西 珠輝 (高校 2 年・男子)
- ・古川 紗裕 (高校 2 年・女子)

★2) 精道小学校とモンテベロ市小学校3校とのオフィシャル交流

精道小学校4年生が動画を使って学校生活を紹介するDVDを作成しレターとともに1月にモンテベロ市のハロ氏へ送付した。モンテベロ市小学校からは「手紙や絵」による交流の提案があり、今後の両市小学校交流はMASCAのマイケル岡村氏に全面サポートして頂くこととなった。

4. 外国人支援事業

1) 日本語教室事業

大人対象の学習者延べ人数は北教室230人、潮芦屋交流センター687人、こども教室の児童数は8名で延べ子ども学習者数は470人。合計1,387講座を実施した。子どもの集中できる時間を考慮して9月から授業時間を1時間に短縮した。今年度からボランティアへ交通費補助として1回200円を支給することとなった。

クラス名	曜日	場所
日本語教室(大人対象)	火	ラ・モール芦屋203号
	金	
	月 (AM/PM)	潮芦屋交流センター
	火	
	木	
土		
こどものための日本語教室	土	

2) 外国人のための文化教室

華道教室8回、書道教室10回、茶道教室11回を開催した。茶道教室は、芦屋国際学院神戸校(旧AISJ)から依頼を受けて、7月に109名の日本語学校留学生在が体験した。1月には昨年度同様に着物姿で湊川神社の初釜に参加した。書道教室では6月に芦屋大学留学生3名が体験した。

3) 日本語ボランティア養成講座

在住外国人の増加を受けて3年ぶりに開催し、全7回を修了した者31名で内26名が日本語ボランティアに登録した。

4) 日本語ボランティアブラッシュアップ勉強会

外部講師による講座「入門期の日本語支援について」として参加者23名、市内の他日本語教室にも呼び掛けてココカラ1名、ふるさと1名の参加があった。

5) やさしい日本語講座

兵庫県国際交流協会(HIA)からの無料講師派遣事業を利用して10月に開催。養成講座の受講生を中心に一般市民2名を含め15名が参加。参加者からは「実際に今、学習者を担当し今日の先生の話がよく分かった。大変役立つ内容」と好評であった。

6) 外国人向けの防災イベント

市内日本語教室【ふるさと】との共催で「外国人親子で楽しむ料理教室（餃子編）&防災教室」を開催。ACA日本語こども教室の児童・ボランティアとふるさと関係者を合わせて28名が参加した。

7) コスモジャーナル COSMO JOURNAL

2019年からスタートしたこの事業は、外国人に周知したい記事や役立つ内容をやさしい日本語で隔月に発行。紙媒体で情報を得る人が減ったことで30号を最後に廃刊とした。

この場を借りて、活動を支えて下さった方々にお礼申し上げます。

8) やさしい日本語での防災関連記事のホームページ掲載

「広報あしや」に掲載された防災関連の記事を「やさしい日本語」に翻訳し、ACA及びセンターのホームページに掲載して外国人向けの防災周知を図った。

★9) 文化祭&コスモかふえ日本語バージョン

「夏の文化祭」日本語スピーチと今年度からスタートした「コスモかふえ日本語バージョン」を合わせて開催。スピーチ11名（ACA4名、こくさいひろば芦屋6名、神戸大学1名）に芦屋大学留学生8名を含む聴衆57名が参加した。スピーチ大会の後には茶菓子で一息入れながら小人数のグループに分かれてスピーチの内容を題材に日本語でのフリートーキングタイムで大いに盛り上がった。

10) 施設見学

2023年度に実施した「子ども司書による読み聞かせ」を再度開催したい旨、図書館側からアプローチがあった。今年度は1月に17名（学習者6名・ボランティア11名）が図書館を訪問し、子ども司書から図書館の説明を受けた後、読み聞かせ体験をした。

5. 神戸大学海事科学研究科への日本語出張講義

前期（5/9～6/27）全8回、後期（10/24～12/12）全8回で、レベルの差やニーズに応じたマンツーマン授業を実施した。

6. 作って食べよう世界の料理教室

4月「コスタリカ編」、5月「イギリス編」、6月「ロシア編」、7月「イタリア編」、9月「フランス菓子」、10月「モロッコ編」、11月「フィリピン編」、12月「アメリカパーティー編」、2月「インド編」、3月「ウクライナ編」の10回（定員25名/回）を開催し、計207名の参加があった。

7. 各種イベント事業の実施

1) 多文化共生講演会

「アフリカデーインあしや」のタイトルでJICA関西所長のアフリカに関する講演と

アフリカン音楽とダンスで異文化理解を図り 159 名もの参加があった。アフリカンカレーと小物の販売も行った。

2) 潮芦屋セミナー

2 回開催した。

4 月：「ウクライナと日本の交流 ウクライナの今」

講師は神戸学院大学客員教授ナディヤ ゴラル氏、36 名参加

6 月：第 5 弾「英語落語」

演者：桂福丸師匠、74 名参加

3) 潮芦屋コンサート

3 回開催した。

7 月：ワイキキ 72 とカイオロヒア「ハワイアンコンサート」78 名参加

12 月：ロイヤルフラッシュ「クリスマスデキシランド JAZZ コンサート」124 名参加

3 月：tea-for-two「～春風にのせて～」55 名参加

4) ACA かわらばん

初春号、秋号、新春号の 3 回を発行した。

収支改善のため、広告掲載料の協力を得ながら、紙面を見やすく、楽しめるようカラー化を継続した。各委員会から選任されたメンバーによる「かわらばん委員会」で掲載記事を検討し、原稿の校正等を行った。

5) ワールドフェスタ

「世界の料理 5 品」とコーヒー、お茶席に加えて外部の出店ブース「モンゴル：肉まん」「スリランカ：紅茶と雑貨」「芦屋茶屋：おむすび」「カラフル：クッキー」

「ローゲンマイヤー：パン」を販売。204 室では ACA バザーを開催して大盛況であった。ステージは馬頭琴、コーラス、ハンドベル、ストリートダンスを披露した。

★7) 30 周年記念誌

2023 年の芦屋市国際交流協会設立 30 周年を記念して記念誌委員会を立ち上げ記念誌を 7 月に 170 冊発行した。芦屋市長をはじめ市内学校、図書館、MASCA など関係機関や関係者へ贈呈した。

★8) コスモかふえ 英語バージョン・日本語バージョン

芦屋市民と市内在住外国人とが英語で交流する場を「英語バージョン」、芦屋市民と市内在住外国人とが日本語で交流する場を「日本語バージョン」としてコーヒー&スナックを食しながらリラックスした雰囲気での話ができる場を提供した。

5 月に開催した英語バージョンにはネイティブ 5 名を含む 31 名が参加して、上級・中級・初級のグループごとにトピックをチョイスして会話を楽しんだ。

日本語バージョンは「文化祭&コスモかふえ」として 7 月に開催した。

★9) 多言語相談窓口の拡充整備

これまでは英語と中国語で対応していたが、10月から芦屋大学と連携して留学生8名を外国人有償ボランティア通訳者として多言語（ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、中国語）での対応をスタートした。

社会福祉協議会、商工会、自治連合会とタイアップして各種イベントに出向き、在住外国人との交流を図る試みを実施した。

ちらしを各方面に配り、広報あしや10月号にも掲載して広く周知を図った。

相談窓口通訳者は初級編と上級編の研修で心得を学んだ。初級編研修には日本語ボランティアや理事、監事も参加し終了後には懇親会を行った。

★10) 潮芦屋交流センターホームページの多言語化と Line 開設

多国籍の外国人に対応すべく、4月からやさしい日本語を含め9か国語（英語、簡体中文、繁体中文、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語）で表示可能にした。

日本語学習者からの提案でイベントの案内専用の Line を5月に開設した。

★11) 潮芦屋交流センター調理室「高機能オーブンレンジ」5台入れ替え

指定管理者選定時に芦屋市へ寄付を提案した200V高機能オーブンレンジ5台を8月に設置し、予てよりのお料理隊の切望が実現できた。9月の菓子教室で使用したところ焼きムラがなく好評であった。

★12) ひとり一役活動

芦屋市が実施している「ひとり一役活動」と連携して市内ボランティアの活用と潮芦屋交流センターとACAの周知を目的に今年度から導入し、延べ3名の方に2月と3月のイベント設営を担って頂いた。

8. 他団体への後援・協力・支援について

- ・ひょうご国際交流連絡協議会総会出席（5/21）
- ・あしやNPOセンター総会出席（6/1）
- ・阪神南・阪神北地域外国人相談実務者地域会議出席（6/13、11/14）
- ・芦屋市生活安全推進連絡会出席（6/24）
- ・芦屋市人権教育・人権啓発推進懇話会出席（7/17、3/14）
- ・芦屋市帰国・外国人児童生徒支援連絡協議会出席（7/30、2/10）
- ★芦屋防災まちづくり協議会主催「風流盆おどり」に外国人のゆかた体験ブースを出店し、日本語学習者家族や芦屋大学留学生を含む12名が体験（8/16）
- ・潮見小学校町探検「潮芦屋交流センター案内」（10/10）
- ★「潮芦屋ふれあい元気の会 秋祭り」日本語学習者が太極拳を披露（11/2）
- ★県立芦屋高校生徒4名と引率教師1名の訪問「国際都市芦屋の高校生としてあるべき姿を考える」でレクチャー依頼があり国際事業委員長が対応（11/26）
- ・外国人県民相談ネットワーク推進会議出席（12/12）
- ・芦屋市主催「乳ガン健診実施」に施設オープンスペースを開放（1/18）

- ★地域自主防災総合訓練「雪まつり」に芦屋大学有償ボランティア多言語相談員を派遣協力（2/9）
- ・芦屋市外国人関係団体会議出席（3/3）
- ・潮見小学校4年生社会科授業「国際交流について」（3/7）講師に国際事業委員長を派遣協力
- ・「耕三の会」、「芦屋能 狂言鑑賞の会」後援

9. 総会、理事会、常任理事会、各種委員会の開催

- ・定例総会（5/25）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1回
- ・理事会（5/25、3/29）・・・・・・・・・・・・・・・・ 2回
- ・常任理事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11回
- ・専門委員会の開催
 - 外国人支援委員会・・・・・・・・・・・・・・・・ 11回
 - 国内事業委員会・・・・・・・・・・・・・・・・ 11回
 - 国際事業委員会・・・・・・・・・・・・・・・・ 11回

10. 会員数（3/31時点）

正会員	25名
賛助会員	214名
団体会員	2団体

11. 兵庫県「ともしびの賞」受賞

この賞は、地域社会にあって長年に渡りひたむきな努力を続け、地域の文化の向上に貢献して、その活動と功績が著しい団体を表彰する賞です。

芦屋市国際交流協会の30年に加え、芦屋姉妹都市協会設立から数えて63年の長きに渡り芦屋市の国際化、多文化共生等に多大の貢献をしてきたことが評価された結果で、大変名誉なことです。

長年に渡りご貢献頂きました多くの会員の皆様と共に喜びたいと思います。

12. 寄付

5月にウクライナ大使館へ支援金として3万円の寄付をした。

13. 物的サービスを受けたもののうち主なもの

今年度はありません。

以上